





タ不言をララスコーラ

股質諸器炎第八 其一扁桃腺炎 其二耳下腺加苓児炎 耳下腺加苓児炎

其三甲状腺炎

唾

痛

其四乳腺炎

不具正非片

其六攝護腺肥大

外科部然是考之十巨功 石黑正非片 混スル者八往々此病ラ發ス而シテ四肢三發ス 傍皮下蜂蜜織ノ表面水脈造テ發炎スル ノ感侵二因テ特發又又局所炎症二曜レ 殊 · 壞 直聽毒等 · 方淋巴如液 · 聽汁、麼販 水脈炎八刺傷截傷銃創二繼發之或八一種大氣 科説約卷之七 其一水脈炎 脈並水脈腺炎第六 リンパンギライチ 石黑忠喜 纂述 ス 八其近 液カラ 7

クハ原ヲ膿電ョリ發ス試三二指頭ニテ按セハ 急慢各性二時ラ症候同シカラス急性病初二ハ 蔓延シテ皮表二汎ク赤色ラ見シ無ラ赤斑ラ現 患三罹レル水脈系管赤色或ハ赤色ヲ見レテ僅 テ恰を罹 硬結シテ些火ノ抵觸ニモ刺シク痛三其線速ニ 症 ルラ常トス 候 腫起と恰を赤線ラ引クカ如し但と此赤線 個ノ赤斑終ニ合シテートナリ ノ如シ加之其患二雅レル水脈二連 腫 脹 疼痛シ

其 特 他 7 發 傾 伹 7 深 局 熊 2 肥 + 疼 時八膿 部 継 般 所 ハサ 水 大 公痛八急性=比 發 水 7 脈 + 腺 脈 按 水 毒諸 脈 -炎 セ 氏 紅 左 炎 腫 初 1 7 症 確 症)截 劇 硬 超八發流 ラ發 結 -ス セハ 候二 罹 久シック シラマヲ 7 加 日加シ 熱。所 因 码 7 外 水 ル テ 1-2 〇慢 腫 見 水 7 7 ラ 脈 ス 7 + 以 ハ疾 テ 性 腺 力 テ 知 監 症 硬 1 如 始 痛 膿 組

急性水脈炎八或八消散之或八化膿又其化膿人 瘍 中二充積又或八血 九者八膿汁其所 潴 轉移潴溜 八血脈中二入ル者二比セハ危篤ナラス 不該然 清本十二 **ラナ** 症八結組織於無二因テ前篇三所謂 八羅斯ノ沿法ノ如心冷電法安靖等是ナリ ス 頸 透スルファリ其膿汁。水脈中二入 シ又八水脈實質患 罹 脈水脈 二吸牧セラレテ 溜し或八膿電ラナン 石黑斑 1 テ 燕様 為 他所 ラ其

用 症候 急性症八腫脹硬結疼痛心僅二按歷又心 近傍組織,炎症後二發之或八一二,全身病 室 水 昔時八騰電ヲ探索シテ截開ン當今八此法ョ賞 八梅毒腺病等三發又亦急慢两性ア 脈腺炎、四肢動 セス 心炎勢劇シケレハ随テ發熱ス若心有害,原 斯熟二併 其二水脈腺 發スレモ 炎 作過度或八損 多クハ水 脈或八水 傷三發シ ナ + 脈 E 劇 腺 例

波 者 症 因 7 水 作 無 除去スレハ 候 動 脈 レハ轉シテ慢性トナリ或ハ化膿ス 八一二週 腺 1) ヲ 且 7 ア ヌルト 炎ノ化膿スルハ腺ノ實質 腺 經 テ終=敷腺ラ侵 現ス又水 炎 過 ") 春念山王 = 稍 ノ差アリ其服表部ニアル ノ在英ナル 而シテ 漸々 拘 大ナル 脈 ラ 消 ス急ナル者八四五日緩 腺 水脈腺炎,家 散不上雖王其原因除去七 動 ノ聚合セル部 ト其性ノ 心膿腫ラナシテ後 脈,近傍ニアレハ 頑 モ 十其近傍組織 石黑亞種 者目 固 時 ナ 12 八著力 ス 破開 脈 可 ナル 是

創 水 發 局 全 硬 近傍,水 ク疼痛 結 所 發 損 ニシテ ス ナリ 組 腺 ヲ蒙レルモノ 統織 炎化 ル 僅三疹ヲ見 脈 业 " 動 = 化膿スル所アリテ ナク或八腺り結組織流無り為 膿 二症共三或八慢 意 腺 モスレ 硬結 外 セサル時 稀 卒 或 然水脈 失血 スモノ 腫 二多 1) ノ真 脹ス又單 性 +轉 腺 英 在前産サル 炎 炎 八四 アリ但シ膿毒症 ヲ 上併 婦パ 肢 發 ノア 一僅 發 スル P セ

度 名 チ 鼠 永清祭 养然上 上述ルー - 適 之八陰 踐水脈 水 他諸般潰瘍ノ為三水 ア 脈 1) 4 所 殊 + 梅毒性炎,論八別三附録 腺 ル 腺 具一下 = モ = 1 他 腫 多 カ 世展スショ水脈の大或八潰瘍ョ下! 亦之ラ キハ発 梅毒 = 因 疳 7 發スレ氏器選三比 發 踐水 脈腺炎ラ發スル丁多 シ腐 テ 脈 水 腺ノ交感炎腫 腺 脈 蝕 樂 腺ノ 石黑河 リ貼 棋毒篇=詳 腫 テ 附心 項 脹 スル 並 Z 忽

炎 其 珠 腺 腺 + 病家人 他 發 二多 易 水 ス原 脈 7 12 呼 腺 水 下 7 业 7 腫 症 謂 脈 由 1) 顋 テ多 7 展 月 腺 腺 7 須 又又、脊椎炎腦水腫結疾病 三点やタル ") 一悉 病 腫 攘 7 癌 性寒膿腫 脹 以 7 7 テ 條 癌 第 腺 病ノ緊要ナル ラ参互 策 又、腺 通 腫 徴 7 トン安保 生 スベシ シテ 病 テ 性潰 ラ第二 証候 等 殤 念 頸

陣 時 策 貼 宜シキョ 斥 傾 丁幾了塗擦之壓定帶力施之方偉効了奏又若 トス著キ水脈腺炎ト雖氏安保宜シキラ得い 既一體潰人徵 八消散レ又炎勢强カラサル軽症ト クファリ炎勢動シケレハ寒電法ラ行と沃 产化 アレハナリ故二、異蹊水脈腺,慢性化膿炎 所ナリ或ハ既二截割シテ後 北京教 膿 膿セスシテ截開スルハ當令諸家ノ 失シテ安三動作スレハ急三種大 ラ催 アラハ機温湯ラ行と温 進之化膿セ八截 開シテ膿 大二化膿乙 雖女安保 巴 化膿 布ヲ 泄 擅

腔 用 1 大 2 7 7 若 梅毒篇 愈 開 道 氣 梅毒 瘻 壓 見 合 12 7 ス 定带 ハベ 換 E 孔 7 性 瘻 12 へ患處 7 11. 参互 ノ者 7 孔 作 効 若 E 截 數 為 レ膿 , ラ奏と ス ス 々新 7 32 除 デン 家 雖 潰 12 i 表兴 者 好 務 セル 生 + E 产他=累 別 - 症 八壓 メラ ス 二治 ウ 出 = 部 11 1 定 清 少於 法 編 潔 烈力 小 及 1 Z =壓元定 带了 水 7 腐 脈 居 12 i 7 蝕 且 得 腺 處 1 儿带 7 寒卷 膏 ス世 防 1 劾 亍 勿 7 開 心意全

腐蝕性甚シキ者八石炭酸ラ六十倍,水三稀釋 外科談然人者必以 神經八血管ラ受ルー多カラサルラ ン外用二供シテ偉効アリ 脂 惟い一神經鞘三比セハ稀ナリトス然レモ神 鞘炎症二惟儿時八神經滋養,受川丁 テ神經ノ實質大二變異スルフアリ 化センメ或八神經實質中ノ結組織於無り致 神經并神經鞘炎第七 殊二神 ソス 少ナク随 テ炎症ニ 經

E 雨 官能 術 十炎 三運 或 痺 7 神經 証 及七 即 17 其 動 間 ナク 関 ス 2 チ 又 神 痙 神 7排 歇 ス例 知 シ或 又 經 撃ナリ 經 1, 器 却 往 痛 之八破 痛ニシテ 械 痛 い持續シラ 2 3 7 2 痙攣八 的 妨 ラ其勢ラ 力 1 變化 名 アリ其 碍シテ 傷 ラ 運 ツク 風 ル 等 時 ノ著 動 然 奪 劇 知覺 7 2 Y. P 妨 レ氏 如丰 7 シク 目 1) 7 碍 沼 ス 于 7 其 灰 是 可 運 妨 至 ス 痛 碍 + 動 + 此 モ 覺 症 7 7

起ス 其 或八冒寒等二發入少時間二寒暖,度佛三變人 ラサル 時八往 説ク 一神經鞘炎二因儿七八八樓麻質私 痛久シ 惟 习生 平 师 未夕 而 以、必入神 シテ 己 7 症 P 左 顏面神 顯微 其 治セス又、終身ノ患ト 忽チ治スルファリ若シ神經 神 原因い数多アレモ就中著キモノ 等人 經纖 鏡檢查ニテ之ラ看破スルニ 經器質二變常ラ受ルモ 經痛並二將神經痛力 維ラ壓迫スルニ至レハ + 或八外 發 至

其 症候 神 益 7 三病 骨神經管或八神 見ル「多 因 二神 經痛弟 此 + 瘢 ルニ因ル者ナ 的赘生物又八血液 痕, 經 ラ車 損 傷 三ハ 為 症候八疼痛ナレ 引 = 因 三生スルモノハ 瘢 ス 儿者 經 , _ 1) 痕 系腫神 ノ為 1 劇 一ハ全 孝出ノ為 甚 生スル 等三壓迫又八產 + F to ル ク 神 新 其 E 術後等二之 漸 三腦或八 經 1 徐 7 ハ炎 損 + 發 傷 頭 症

其 迫 其 疼 患 八却 輕 他 抵 如 神 俄 觸 痛 部 日 抵 灼 例 秋、 テ 八别二 經 7 ク 疼 痛 觸 剔 受 之八神 稀 痛 發 マ發 ル カ スレッ ナリ ノ性ハ多 2 英甚シ スル トモ 如 典 經丈 7 挑 ク 作 M 别 劇痛 誘 穿 トノ D ス 出 起 1 二患 ラ ル F 7 差 ス スル 間 間 スレ ス 力 E 12 又 歇 歇 1 7 如 7 發 其 , F 所 因 1) 十 + 性 川時 時 神 = i 强 又 1 , ナ 2 骨 疼 異 4 間 經 7 7 管 痛 27 1 テ i 7 ル テ 持 1) ,, 周 上 + カ 圍 押 ノ皮 發 性 1) 而 ラ 壓 刺 性 肉 ス 唐 且 シ ス

性學急月無發スルーアリ或八分泌機變常月無 古来神經痛ョ治スル内服薬ラ稱スル者 機亢盛滋養妨碍等,為二全身衰弱又病性 シク多以ノ思ラ遺之不眠脓管系神經系、刺衝 心例之八族汗津重ノ分泌ヲ増進スル 經痛暫時ニシテ消散スルーアレモ多クハ 八終三快々トンテ欝夏之或八自殺ヲ謀 屈指

水 遑 歇 切 注 二号:溶 ノ特 ス 3 時 入法习賞用又其 局 サレ 滴 呼 効 1 用 藥 八莫爾 , 酸 楽ナシ 73 F 解之五 亞度魯比涅八一人 規 1 至五滴 ノル一法而己電氣 大量 尼涅 美 E 唯其性正シク時 總テ一時試 ハ發 滴 月注 規 尼涅偉 方鹽酸莫爾非 乃至十滴 非涅或八亞度魯比涅人 入又發泡 作习城少又儿 驗 劾 7 7 ョ浄 7 惠丽 り又假令如 限 稱 烙 偶中ニシテ 水 沒十八月 鐵 用 7 £ 定 ,皮 スル人 不 多 疑 7 テ 淨 皮 間 確 浒

坳 總 テ効 經 後 ラ全り離 K 未 可心此 7 着 者と其原 リテ 離 部 + 再 他 新 信 術 丰 桁 維 7 七雜 り脳 断スレハ疼痛ノ治 ス可 12 因 行 勿 7 神 斷 7 論 維二因テ道達スルカ 而 カラ 近 可 部 + 經中心: 已但心神經纖 ラ接續 ス若 少故二其病 二八單二截 +明三在 手神 シ安二手 し百方効 7 スル特ハ疼 7 12 7 維 入法 因 E 7 + ス 或 截斷 7 此諸 痛依 勿 施 新 批 7

神 其 常 觸 何 軀 人三 經 幹 神 顏。 痛 經 八稀 發 あるフィ 义 面。 痛、顏 疼 神 神のロウ 神。 却 痛 經 12 經のンラ 經。 ナリ令 痛。文 痛。 7 テ疼 面三發 ル = 埔 拘 キ子リギ THE PARTY スス枝 往 痛 進 シゥ こ ウ 7 々遭 ス スル ス ルラ下の 7 12 减 局 ラル 眼。發 17 ス 1 窩。 退ス 部 リギ スギ 逢人 多 甚ン 1 其 スス神の 7. 皮 ル 經。 各 ク 表 4 痛。 呼ノ 杖 四 等 男 敗之 女 7 了、子 諸 共 輕 因 各 1 イウ 一中中 一次次 テ 名 証 前 強 デ 7 左 年 頭 1)

减 脈 眼 蒲 =0 既 痛 义。 窩 劇 充 ノ道 神。 度 球 以 血 疼 テ 經。 松面 第。 大台 至 淚 痛 痛 テ 3 噒 12 其原 F 7 マリ __0 液 ス 枝。 其 者 服 猶 前 接 -發 窩 酱 多 即 セ 分 額 幽 义 12 i i 怀 36 千 沙 及 神 其 中 他 7 增 7 3 蠲 검 热 拔 眼 1) 慈 多 經 除 枝 兹, 衡 t ス 内 神 骨 眼 角 眼 上 及 ス + 原、 球 眼 經 7 驗 1 者 杖 痛 " 驗 7 E 向 向 以 7 膧 宁 E 於工 動 疼 脹 腫 17 7 眼 又 痛 疼 其 者 驗 發 毛 痛 选 作 様

用 為 時八思:雅レル偏 ス 者アリ言語,為二俄然来ルコアリ或ハ初ノ痒 養 上唇齲齒口益。蔓延又取初因ナクレテ發 法八麻 若シ神 二菱小スルファ り寛エテ 此法方 アリロ内 服窩 醉 經 次二疼 藥 痛久しり 神經习截斷ス可心但シ可及的 共二寸 粘膜:食物, ,皮下注入法,内皮法,烙鐵等, 交为 面ヲ寧縮シ津 1) 痛スルフアリ既三疼 治セサル時八顔面ノ ナキ時ハスコハ氏 觸 ル、二因 唾ノ 汾巡增進 痛ス 法 脳 起 スル 稱

其 梢 ,], 7 經 心管 其 二階骨神經痛インアラ 幹ョリ其分枝二波 部 慢性痙攣习無ルコアリ 續 疼痛,原八坐骨,除孔ョリ フョ可 一共 經 スコ スル時八下肢ノ麻痺 痛 少 ヲ無 三三角 テシ目 + ルモ 力 眼窩骨ノ下 形 ラ リハリナルト氏ノ截 及又又患二雅レル下肢 二截除セン ス 但心胯 而シテ神 或八半 眼緣八神 神經 フラ要ス 始 多力冒寒二 痛 麻 マリテ時神 經 痹或,姜 八樓麻質 涌 除法 若 久シ

斯 新 運 其一小 下肢 科 可 三属人以篇二於下八唯其病機治術,外 動神經 術 療法二因テ俄二治スルファレハ須ク注意 係 ラ行 又此症二八假令疼痛 り官能ラ酸スレハ スルモノ 「アリ又八生盛期二發スルファリ生盛 其 児麻痺ハ著キ 二麻 病二雅リテ終二麻痺スル と難い若し時神經り截除スレハ全ク 澒 7 ク 原因ラ党エスシテ俄 劇甚ナリトモ 者八專ラ内 神經截 科 期 發

熱播學等习發 亳 計 别 發 文 數 較 七綾 テ スル者 ス 2 月 疼 ヲ内 麻 -ス 膀 肢 痺 ル 痛 i 健 脱直腸 テ 轉 二少 八先 暫 妨 7 治ス レテ 胜 時 碍 スル + + " 3 ٦ 脳 12 ¥ 後 7 頹 1) 推 者 恵財ノ皮 麻 偏 充 面等,麻 テ モ温 速 痹 血諸症斜視咬為眠 P ハサレ 側 度 1) 7 消 其甚 减 致 多 表 痹 ス 火スレ 1-" 通 ラ慈 7 i ス E 常 + 寒 于 者 子又 者 K F 画 矢口 T 覺 痙 久 稀 多 テ

難 終 肉 黑 統 内障等,致 ス 膊骨, 関節頭。 例 麻痹スレハ岳 向 區 脂 你 ラサレ 7 テ下 ノ筋 ナシ若シ 用廢止スルラ以 之八肩 化心他肢八生長スレ氏患部八 垂ス醫士之ヲ関 十七手习放 肉 ス若 胛諸筋麻 ナル時八殊二 业患 筋,力偏 有胛骨ノ関節 シ麻痺速=消散 ラ蒙ル了一肢 テハ復 テ萎小り証 痺スレハ 節 勝シ下 種 忽手 高 マ 不良人 有 高ラ 二復 候ラ 脛 + 脱 胛 セサレハ 水 ラ 納 脱 ハ自 平 モ生 畸 見 ン全膊 坦 ス ス シ ラ 形 シ ル + 長 テ 腿 テ

筋 是 療 病 足 屈 部 向 偏 筋 說 于 ヲ 明 勝 盂 拘 致 モ ス ナラ 彩 區筋 亦 可 骨或八脊椎 症 ス ス # 病 冰 麻 的變化 コス 腿 痺 麻 篇=論 痹 偏 E 更 侧 スレ ノ撓 7 = 腹 P + " セスシ 曲 テ 哥 1) ムコ 向 十回 テ 伸 謂 ヲ テ テ テ 两 筋 久 馬 7 ナ 拘 得 畸 足 謂 ス 短。抗 急 形 7 ス 諸 强 類 治 縮。 7 若 病 壮 7 1) 致 劑 篇 屈 ス

文本部外 氣 為二發 動 クノ浴法ヲ試ム例之八温 與ヘテ滋養ヲ專ニス鐵劑酒肉等是ナリ其他種 者、腱 二創 ヲ試用ス又偏 機り見サルモノハバラタイ氏 物浴等是ナリ或八麻操ョ行ハシノ未夕脂 截 瘅 傷麻痺八一區筋肉ノ運 斷之或八毀傷シテ其導達 ラナシ間 ス但心純粹ノ運動神經 截 離析テノー 第三季 錯神経り損スレハ麻痺ニア 方, 屈 筋筋 ヲ 施 浴冷浴海水浴。 短縮シテ シテ ヲ損スレハ 動き主 1 確 力 運 法= 劾 7 字 動 妨 ア 因 クル 7 Ŧ スル 1) 純 テ電 妨 神 化 カ

メテ復續スルニ至ル又毀傷甚シクレテ遂二復 的 症 以テ姜小ラ豫 1 ラレーラ無 肉 スルつ能 戥 或八摩擦し或八按摩レ或八電氣习流通 終二胎化シテ姜小スルノ恐アリ故二 截 傷スルフ 豫ノ其景况ヲ察心務ノテ患部ヲ運 スレバ道達カノ復 面五二家 ハサレハ其神経二主宰セラル ヌル 防 稍 スルラ要ス + 接 大ナル時、數月ヲ經テ後 スルカ或ハ截 リ又假令一旦神経 スルー論 面生長シテ ラ俊ス然 可丰 此 始

症 其三末稍 4 電氣 使 網帶或八外科 面痙攣八通常偏方顏面筋,慢性攣縮二因 并二血管二異常十年 候 次テ患二雅八者ナリ此症通常四肢二多 二於テモ務メテ 用セサルモ ノ取ナルモノハ患部ノ 其 用法ヲ 麻 三痙攣がっい 糊 痹ハ筋纖維ノ姜小二起原シラ神 以テ缺 意 ノい動モスレハ此患二曜八其 器械等ノ為ニスレク壓 ムスピー又ハ 運動センメ且ハラタイ ク可カラ モノ 瘦 サル治 脂 削 化スル丁脱 ナリ而シテ 法小 迫り受 クレ 經

時八樓麻質藥二消炎法ヲ無用ス彼 左ノ一症ヲ説クノミ キュアルカ故二其効ラ確定と難レ又一方り筋 頭痙指症等アレル皆畸形篇二讓リテルニハ 肉學縮スルー甚シキ時八腱截離行ラ 泡藥電氣等八殊効 ラ奏スル ファレ 時亦寸効 瘦八其原理未夕詳カナ 頑固ナルモノ多し若ら病 テ疾痛习無元モ 强痙 ニス 漢医所謂 ラ サレ氏其 原樓麻質私 殆 下稀 破 傷 症状す以

言 翁 雅 受 九人八些少人創 病 小叶 考 ル可キ素質ラ遺傳スルモ 的 强 刺 索スレハ脊髓ヨリ分行スル運 传像新質和 衝 症八危篤ノ一病 病二ラ父 モノ 元盛シか ナリスト ラ論 tha 和他。 因= 子共二整 ス 傷ニモ亦之ラ 之必入知 強症,創傷強立 口 ニシテ レレ者ョ 覺神 1 刺傷截傷殺傷 發入下言 氏八一種强 r · 幸。 幸 1) 經僅少其患 實 テ "例 動神經大二 此素質了 驗 七佐藤 症=

症候 創 創 患者将二 因 シテ全ク之ョ新 者 故 或八寒帯地方二比スレハム ,别 三寒暖急變スル 三發又十云丁壮 一トス 1) 强 + 痖 而 甚の寒り日 り之ラ發 シテ俄=温 7 發セント 離七又殊:其所:異 地又中 實 ス但 度 リ男 スル・ 八温 於テハ 昨暖 子 多クハ神 病 暖シ = 29 温 甚 度 シ夜

强 是 驅 燥 シニテスト 等 薤 開 症 シラ疾 ノ前 ラ發 ナク ケハ 模 +各 俄 様 疼 謂名 痛心全身 驅 スス ス ル 角ツラク 頸筋 痛心津 = 明 症 種 偏 力 々同 T リテ 野筋攣縮ン牙関緊急 侧 為 交後 並 ME i 刺 二十 張= 唾 終二 屈 力 屈 粘液ラ湧流シテ終二全 衝 + 友 筋 曲 几張 ラ 機亢進し 曲 スル・ モスノル 强 ス ス 强 咀 痓 痓 ル 者 嚼 者 ラ ス 12 筋 發 頭 テ ア 7 者 " y 及 强 垂 ス或八山 眠シ難 產 7 强 7 軀 スル テ 前 身 P

共 症一 劇 1) 思 强 過 ル幸三 八二三日緩慢ナル 至 困 痊 ナル 割 難 テ 泔 强 サ言 視 痙八暫 スルニ毫モ病 癒 死 り此 スルモ 瀕 然 時 又 者 兼 FE い散 ニシ 通 テ 1 疼 常 テ 雖 亍 江 码 死 跳 痛 見 猶 丽 毫 促 流 所 進 週 至 でき 7 リン 見 ハ全 17 ラ ス 呼 出 而 身 1) 吸言語 ス 神

療 缺 者 明 室 療法 液 或 充 = 居 人の説=因レハ神 諸 張ス 可 法 ニテ り諸 力 主トスル所ハ光 ラ 1-方共二効 及と「キラーレナリ」コロアルヒダラ 言フ 其聲價最 サルモノハ 般 學 放レ氏 刺 衝 ナン古来實 七萬 7 經鞘一脊髓膜 阿片劑 射劇シカラサル 避ケンム 强 産二催レル者悉の然 キモノハ 殿二於 トス 强 コロ 又 痙 上=多少血 近時 沙 劇 幽 7 烈 病 ナル 發

供スキラーレハ社々奇効アリト讚賞スル人ア 上八二十氏方至一分习水一 皮下二注入之或八一了 ギラーレハ近項麻醉劑トレテ賞用スル者ア 畧書ス柳此品八南亞米利加二生スル毒 氏予未夕之ラ實驗 故二近 センム牙関緊急と テ上人之ラ鉄三金ラ毒箭ラ作り戦闘 刘少藥劑書ョリ敏出シテ其性 五人乃至三十八月溶解レテ頂 テ内 乃至二分月灌 写三溶 服 スルフ 窩邊

量僅三二三り尾蘭ニテ速効ラ奏ス須ク小心 試 スレハ破傷風三用ヒテ偉効ラ奏し顧癇 シテ之ヲ用ュヘシ ユレハ肺ノ豪籥ラ廢止シテ乾ル〇醫藥三供 殊二横紋筋ョ麻痺セシム若レジョ大量二用 狩獵三用二益シ其効分ハーラリンナルモリ ニンラ藥用二供スル八越吉斯ナリ〇健體! 舞蹈 用スレバ専ラ運動神経ラ麻痺し時トレテ 病 硫 紫紫 酸キラーレラ皮下注入法二供又其 及と斯的見規尼ノ中毒ニ効アリ〇 酒客

阿 劲 底 度 = 滴 不良 規 以 尼涅. 片 列 齊 荻 並 7 炭酸 斷 與 油 H 11 於 創 灌 全 他 ス 身 テ ル 安 腸 甘 數 香 D 窟 模 微 法 汞 八莫爾 滴 囬 7 -害 温 凡 7 典 乃 阿 亞等 内 重 稱 浴 片 7 7 服 若 用 並 三 此 12 ス 酒 + 涅 = 7 水 ス + , i = 英 銀軟 滴 嚥 Æ 品 ラ 因 + 米 類 ラ 下 テ D 7 ラ 諸 膏 雨 發 1 7 ス 家 穪 水 1) ス 12 灌 ル 擦 滴 囬 用 12 酒 14 X 盐 乃 = 法 類 吸 又 至 シ 四 瘢 其 並 分 流共 テ 计 = 所 痕 涎=

共 テ 痙 男 為 氏 = 三截 劾 何 子 = 發 車 + + **砲兵附蹄鐵師岩長德松八萬知** 强 經 力 令 ス 斷 是 疰 創 輪 驗 一餐心麻醉! 桁 者= ナル 1 " D 為 切 不 7 良ョ 斷 7 施シ 頰 = 1 析八十 知为 手 ". テ治 創 ノー女 膇 處 洲 サレモ 7 劑 病 セシ 挫 並 7 效 7 傷 截 子十 シラ 沃陳丁 7 ラ 頰 シト 姑ク「ラレ 發 除シテ治 ス 强 木 涨 1 E 痙 幾 縣,人士 棘 E 1 癒し 既= ノ外 7 2 7 發 刺 クロ 予 用

後 目 截 豐 納 ラ精 决 四學急大三緩 田 帯ラ施ス其夜眠二就クモ常二異ナ 馬蹄 下困 弘 十日十二時俄二四肢顫振次产全身變急 去し醫官二就テ治ラモフ醫官乃チ冷溻 格 明 强 鹽 神變ナッ創處 備 難ス 争 鐘 健平生疾患ナン明 酸 强 莫爾此沒半成为皮下注入又此 ラ什スル際鉄テ左無名指 既二シテ牙關緊急言語不了 直シテ傲 解シ言語以シ 一惡兆 然 強極り証ヲ呈ス ナン隊附醫官軍 治六年九月 ク 鲜 第 可ク 九 眼 滴 H

t 時擊急漸々弛 醒覺 不覺後諸在頗几减退 不發病以来食习 ート二十八ヲ水ニ溶解シテ灌腸ス爾後 院二送八此時服轉一百學急復發之昨日二比 ス 水下ル可キニ至ル其望日之ラ擔舁レテ本病 二或八三田或八五田學急發作スルラ以テ 八十一度二至り諸症稍緩解又然 サルラ以テ獨汁並ニ鷄羹汁ラ與へ且無テ レハ諸証取を刺シ予直ニコロアルヒダ ブランテー 大学 緩心終二眠二就 酒 ラ與 フ十二日午後 キ四時ヲ經テ 脉搏 E 凡一 減シ 日 用 ラ

其 7 7 画 時 日 因 三 眼 水 發 癒 眼 污 中 延 77 = テ テ = 作 對 沙 7 至 共 量 僅 照 退 症 テ 和 和 北 站 院 檢 沿 i 甘 亍 3 法 シ テ ス -7 日 ナブコ テ 明 頓 其 汞 テ 7 -其 赔 日 王 服 病 言 7 施 = セシ 網 " 典 語 U 泔 7 スルフ 次 臭 膜 并 7 ス 12 A 吸 素 ス -12 充 角 = 月 12 分 ٤ 加 ハ 當 4 而 眼 7 7 僧 + 加 六日 得 貼 ラ 己 母 每 ス セ テ患者 軍 サ 3 12 = 囬 2 十 -醫 7 必 秋 至 7 内内 ス 自 A 獅 認 田 1) 劾 ラ ラ JE K 7

フテカ父ハ指习截傷し强症ヲ發レテ斃レ姉 剪ヲ以テ指ヲ傷ケ亦強連ニテ斃レタリ故 最 症 遺傳アル説ヲ疑と後佐藤新ノ説ヲ得テ今 テ婦ルフラ得ル何等ノ過幸ナルヤ コロアルとタラートノ性効治験八東京 日此病二雅レル時既二命ラ決セリ今治 ラ實驗ス先哲果シテ我ラ数カサル セリ鳴呼予先二ストロメール氏 治験録二載テ詳カナリ予爰二此一病 験ヲ掲クルハ強種二遺傳アルフラ 変が 1-ノ強症 深 + 7 1)

欲

咽 喉扁桃腺炎,雙方共二患二催儿,常上又冒 腺質諸器炎第八 其一扁桃腺炎ドンシルリチスス

ル時三發レテ流行三雅レル一徴トスルニ足ル 上併發之或八麻疹,捏紅疹,其他發疹病人流 寒後二特發スルーアリ又八咽喉粘膜加答見炎

症候

壅 或八喷之或八映之聲 腫 タ 王レハ強 見 扁 患者 解心難の呼吸甚の困難ス時 檢 垂 不 前於 脹 得 レ挙出 桃 疼痛。按心 查 為 腺 サルニ 著り 自 スル 物 ラ 下 上二 腫 頗 咽 至心故二甚之十 1 7 向テ 唉 + ル 脹シ腺 熊 リテ苔被 1 困 り疼 WHIL ^ 異 難 抑 痛 ス 唯下 ニメ津 坳, 壓 調 = 部並二口益 變し 因 ス其腫 セラレ テン 뢣 存 症 腫 角 唾 ス 粘液口 廣 ル 7 脹 服甚シケレハ懸 三至レハ トンテハ無テ耳 7 徴 粘膜鲜 甚ら 押 ク カ 一投心其 知ス ロラ 如 外 キ 扁 -開 紅色ラ 如 寛工 湧流 硬 桃 浒 " 腺 言 7

常 遺し 經過 消散又通常炎勢既三消入儿 炎勢甚シカラサル 築 且 動 之咽喉扁桃腺 之歐氏管内,粘 ス ナルモ 歐氏管壓迫セラル、為二聽 モスレハ些以 波 動ラ 1 腺 类= > 現心患部二白 モノ八數日或八數週三 ,誘 膜)表面或 ,深部 こも炎ラ波及スル 多少寒熱發作人儿 因 ニモ トモスシク 再 點り生しテ言 發 官妨碍七ラ 腫 脹

發往 扁。 4 語或八岐歌嘔吐。ノ際 入 桃。 若 屢々炎三雅り無テ咽喉粘膜炎ョ誘 後 睡レハ常二軒聲ヲ發ス而シテ既二 原 腺。肥 心膿 聯。 肥大八炎症=継發スル者=ン大スル丁多シ 膧 脹 7 潴溜ス 下 聴 著 取二田 ク 縮 樂 12 小 難 偶然膿口破 ス通常扁桃腺急性 丁大量ナル時八破 i 口 7 開 闔 開シテ テ 炎 開 肥 膿 ,腺 ,後 大 便 漏 人病 八貨 泄 泄

挑 扁 然 **元** 針 後 直 之月損 絡 挑 腺 小單 貼 テ 足 腺 一扁 膿 急性 缺 若 レリ ス 此典 瘻 心平 L 桃 作シテ カ 或 腺 炎八冷) \ ョ生 涅 可 ス 7 後 針 一截 頸 力 日吸 側 水二 ヺ 好 可ナリ 7 スル 水 廿 貼 ラ 入 蜞 法 又八水。 しに 頸 和 痕 F i 吐剩。下劑 婦 針 ノハ シテ ラ遺ス 部 7 人 刺 - 卜適 行 水の 包 含 絡 温 フへ之炎勢利 ヘノる 一社劑ノ 嗽 在 溻 被 冝ノ下 舍 セシソ テ 法 7 77 嫌ア 7 11 典 嗽 ヲ 劑 頭 施 以 如 フレ 若 テ連 12 側 内 + i 静 退 服 IE 媒 扁 畴 ス 脈

截 截 其。區 耳 腺 大 除 開ス可シ カスルニ 大 耳のス 水 炎八原 腺。其 其二耳 次多外耳ョり頭部及と顔面,正中二向 氣 千 1 中 加西南 シテ為二諸 苔。性 發 児 若 其 7 腺炎,口 臥 果。 加答見性上 同 h 炎。 起シラ 侵 ス截除 シ カ シ易 パロチナスルンの胃寒或ハ ラ 妨 心病 發之或,故 # 法ハ手術 碍 キチス 継發轉移性トノニョ 12 ラナス二至ラハゼ 1 初 寒熱往来之食 左ノ如シ 篇二詳 7 クシ D 7 濕

桃 頭 症 動 共二發シテ 训 丸 腫 炎 腺等,炎症,併 發熱甚シク終三危篤三迫ルファリ 7 三八津 症 モスレハロ内粘 九炎 發之或八睪丸炎化膿三傾十万終三耳 以テ按之或八食 脹し思部ノ皮膚淡紅色ラ見 関 化膿ス 係スル 班,汾 學然 病勢ラ同 12 巡 モノニシテ 3 膜 1) 妨 發之聯下。呼吸 加善見炎下駕腺 物可咀嚼入几時 シクシ 消 碍セラル、 散スル者 並 耳 " 腺 大, 共 シテ水 耳 丁勿 炎下睪 多之又甚少睪 腺 一舌下腺 困 論 炎 而 疼 腫 九炎 ナリ 難 痛 岩 扁 テ 亦

寒戰 腺 行と綿ョ以テ被覆ス若と耳 法八消炎諸法ノ外ナラス惠 疹病 耳。截腺。開 發 脹 卜疾 心無テ所々軟部ラ生ンテ り轉移スルーアリ 硬 シ其症 膿毒產褥熱肺炎睪丸炎等/轉移症下 轉移炎パタスタチセ、八室扶 結スルフ建し 痛 シテ膿 トノか 状八加答児炎ト異ナルフ 7 漏シ以テ獲 答 見炎ョリモ甚シ両 ケレハ脳 腺 化膿セル確徴 筋脏緊張心染 部三乾温養法ラ 7 作ラサラシ ョリ歸 斯 熱急性 ナク唯 スル 痛

静 動 シ照下呼吸困難シ 消 避 二膿毒并二血液變調ョリ来レルモ 所 防 脈 炎 惡症ヲ継 加答見炎二比スレハ化膿一傾 クニ足 法方月行 スレハ為二聴 血 ~其腰漬スル時八外聽道二開 七刀 ル若心既二化膿ストモ膿腫 行 開 發シ易シ 7 妨 七里 スルフラ 4 腦 腦壓迫人險症 シャー適スレハ以テ化膿 小骨ノイコル浸熊脳膜炎等 症增進シテ語言替眠昏睡 要七八唯耳服筋腔 7 ク モノクタ 發 ロス 7 人轉移炎 緊 潰 7 張

唾 齲 膧 食 原 瀛 時消化ノ為三泄ス如ク多量二八非 脈搏緩徐ナルニ至ラ八截開法ョ行フ可シ 盛 ヲ截 損 傷二因儿者多心然心氏或八時發心或八膿 樓口既二皮表二 開 他 八耳腺又八耳 痛 ノ為二生 漏 開 唾 口ョ 癌 泄管中二 酒 ス ルニ因 ŋ 粘 スルモ 稠 腺 テ 透明力液习漏又然 石"呼 漏泄管ノ行道二生シテ 1 發スルモ ロスルモノハ咀嚼言語 P 睡謂 y 石盛 上塩リス凝 ノモ 亦 著シ或 祖力心 ル レ氏其量

消 が 新 或 其 細 漏 達 息 消 法 開 療 洲 重力 孔 八常一壓定帶力施 管 子 息 法八 合 7 7 中普 直 子 開 漏 4 硝 時 = 0 7 ŧ 人, ラ 酸 送 耳 一八達 内 銀 × 腺 耳 金石 又 或 、純 = 達 ス 所 新 線 漏 腺 ル 炎 病 36 7 スル 揷 = ス = 7 7 スレ 7 監別 7 作 ンス 若 硝 發し易 漏 入レ 上, E 為 酸 7 カ 泄 當 壓空帶 耳 i 1) ス 7 ス ラ福 ·結紮法 法 12 腺 漏 +大害 1 レス 痛 方 テ F 泄 が調が 甚 管 曼 效力 + 7 7 11 7 維 施 痛 痛 7 + 4 n 1 焦 難 今日 行 D 又 時 ラ 灼 t 口 3 壓 痛 内 1)

音變調 績 脈 定 後俄三發 址 ラ收山 二階 きら 病 7 施 脹 八甚 例 症 咬軟 12 其 レテ シテ 之,腺 7 ルフ スル P 三甲 4 静 17 發 7 耳 稀 或 發 7 稀 腺 ス而シテ 脈 状 二見ルモ 八化 ノ一葉或八全 7 腺 心呼吸購下共二 ラ菱小セシム 臺 血 + り其 炎 1 7 膿一傾 歸 チーレ 炎症 流 証 1 ニシ 充分 " 消 x 1 紅 色 ル法 服二論 テ F 散 ナラザ 1 スル 内熱鈍 難 損傷又八胃寒 千 1 2 7 7 アレ氏亦 7 12 頭 1) 1 痛 共 1 部 ħ 化 近 又 故 膿 劾 傍

恐 化膿 開 全 ス 漏 假 义 静 八胸 時 令菱 泄ス可シ 11. 11. リ故 脈 ノ生 テ 性甲 ノ分 骨後 膿 死 テ 育 三至 發 状 7 縱 岩 布 一妨碍 テ 腺 泄 既 スル者多し殊二産 二化膿 セハ 膈 ルモノナ スルフ多キガ 对 i 炎八室扶斯熱或八腰毒 膜 自 1 中二膿 腺 ラロラ食道或八氣道 無 基 + スルヲ見ハ截 1) 縮シ 力 故 计 如 故 テ 一截 二十九 湘 クニ至ルトモ電 二職毒ヲ發 婦 瘢 溜シテ裏 開 痕 職毒ニハ 開 法ラ要 -7 遺ス而 テ 状 膿 亦 開 ス截 スル モ 丰 7

剥 發 痛 テ 7 甚シク殊 元 發 增 脱 炎 ル、三至ル又稀二八炎勢皮下結組織二及 ル文外深ク裂し 八二比 進スル 管、服管、神經。 頭 スル 及其 E 四 .7 ス 乳 レハ不 時 乳 夥 = 輪 腺 吸 i AMIL 乳 乳 , ノを連續シテ 炎 1 来ルモノ 腺 强厂 炎 コス 云 良 在或八潰爛八乳 或 + 時 ナル フ 1 21 乳 ケロ チ 創 7 頭 氏丰 11 1 多シ 口 14 血 ス 固 乳 他 7 説ン 3 ") 間 乳 ス 漏ス 輪 其 論 頭炎八表 組 深 7 婦三發 2 豫 ラ供 周 織 潰 后八 至ル 西シ 爛 皮 病

勢 味 乳 破裂ラナサントス九数 為 裂スル者 スヘレ乃チ冷溻法洗浄法脂劑 巧乳頭ニテ ノ變 三乳汁漏泄管三積溢シテ乳房緊滿スルニ 乳腺二波及スレデ哺乳セン 頭近傍ノ皮 稀薄溶液,塗布ス乳汁醬積シテ緊張二苦 スルラ以テ見ノ哺乳スルー充分ナラ 八脂 乳 下二膿腫 類ヲ堂布レスハ硝酸 頭ラ覆護 ススク乳 ラ作 アラハ務メテ之ラ豫 為 ノ塗擦 頭 7 心的應此 銀或 法 7 り且 既 防

末 ラ武 珍スルファリ若シ急性發 不或八山兹, 乳 吸 過 痂 バコートシ 用セス班婦産婦等二八兼テ乳頭乳輪ニスハンムルニ女ナリト云が然レモラ未タ ラ剥 腺 之 汁り吸出セジム西人八山 久ナル者トニ發ス成女期又八經行時三發 ラ貼シテリナリ 組織炎八多分產婦新乳ノ者ト 落シテ 姑末 教 ヨークラ以テ乳 固 脂 布シテ可ナリ慢 う塗擦シ又八布片二脂 秀ナラハリコボシ 時大子、猫 頭可被覆心徐 哺 性 光二乳 ナラハ 乳 7

症候 積 冰 例 按スレハ劇 法国シキー適シテ始タテ消散スルファリるシ 及 腺ノ一葉炎証ラ發スル時八直二延三數葉 ル者アレ ルヲ ニア スルニア と易少皮表緊張赤腫シテ鈍 料九九 卷 之北 並經過 天然二委子テ炎勢消散スルーアリスハ治 ラス 爾 知不又無テ寒戦心患側ノ液 F " 痛し炎証ラ發スル葉々ハ硬結節 極 但シ腺ラ損傷シテ發ラル者 メテ稀ナリ其原由八乳汁 痛し若し指ニテ 一心想妖機 下腺腫

腺葉腫脹スル者八人巧乳頭ラ装置シテ家防ス 為又此痛い頑固ニシテ治之難ク假令愈合スト テ夥多ノ膿腫膿電ラ生シ終ニ腔道或八漏ョ作 - 刺戟セラレテ炎勢増進レ近傍ノ腺葉ニ及と 限ノ所々二小腰腫ラ生シ漏口過小ナル時八常 ノ近所三開ロス 消散セスシテ炎勢増進スルモノハ八日乃至十 女子言於 モスシク硬結ラ遺ス 後化機ノ北ラ見シニニ日ヲ經テ自ラ乳頭

二五五月八日四四市一

ラ賞譽ス温巴布ハョノ炎ラ消 截 ハ球 ル二至ラハ充分二截開レテ ロハ長カラサルラ要ス若シ膿腫腔中二中 口 ル者 漏 傷 開 ョリ示 法ヲ シンカ為二炎ラ發スル二至ラハ温 ラサランフラ 頭カラ以テ示 スルニハ乳 ナリ其他榜帯ラ施シテ 指ラ入レ膿 施シテ濕潤 頭二向七極 要又先少 指ラ傳へテ截 腫中ラ探 ナラシンム 三十二一知思数北國 火 膿 メラ小心シテ 乳房ラ 化 川結 シク截 若シ膿 7 膿 漏 開 硬 ス 組 ス 結 腫 然 巴 7 納 伹 解 K

底 療法時宜二適シ病勢威ナラサル時八三週乃至 クス 夕彩談然 四週ニシテ治スレ氏若心腔道ヲ存スル丁多 自 油ラ布片一醮浸シテ截ロョリ挿入シ膿 ム可シ總テ載 三達センメテ截口ノ癒合ラ防ク若シ膿漬シ リテ 可カラス既二截開シラ膿汁ラ漏サハ水或 芽 レ小ロラ處々二開カ八截ラ其各ロラ通セ ラ 切開心創口ト通センムトモ亦截口八長 1 ラ促ス可シ ロラ開カハ截開いテ其ロラ大ニス可 開後八巴布ラ貼シテ硬結ラ解 腫

かく残論甚らす者以并余相治一

丙 膿 疼痛 發 7 冲 ス終 增 H成为 版 終 2 化 灼 胸 胸 サス通常日ラ 习覺工指 熱 腺 三截除術ラ 腺 稀 者 稀 著 後 一继 結組織 5] ク凸 加之深 三見 っかか 化膿スルー緩慢 頭二方患 發 ル 腫し号 症 炎 呼=壓ス 要 スル 2 經 硬結 、特 スル ナリ或い胸 7 所ラ 7 叶 甚 僅 ,皮 發之或八 7 7 至 力 沙 按 雷八紅 症 ,2 如 スト 者 膜 7 状 一意思表出教養 穿 胸 テ 炎 亨 F 八年余 甚シ 别 速 色 肺 7 腺 一胸 = 化 カ 炎 炎 疾 ク ラ 楢 發 # 治 腺

曹俊成十届 華文义十月合併心就中先少到军也一 外和談外 ルヲ 丸 军九炎,特發之又,膣膜或八副睪丸炎:併 リス八直二限ラ通貫シテ截開スルフ 宜シク注 治法、東初ニョク波動アル野ラ認ノラ截開ス 尿管ブレノレー交ョリ發スルファリン 乳管十膿 ブレノレー炎ト名ック多クハ睪丸腺質炎ト =寒膿腫ョ生スル者アリ 法 其王睪丸炎ラルシチス トス但シ周 意ス可シ 腫上通シテ乳ニ膿汁ラ混スル故ニ 園ノ一所ョリ截 開スルフ 7 1) ラ軍 發

由戶時 偏 急性 英 症 膣 膜炎 方 候 ラ發 ル ノ睪 除妻 7 疼痛 發 勿心陰囊水腫 レ次テ 1 副 九 ス 水 **腫、沕** 长光 ルモ i 睪丸炎トラ合併し就中先ツ副睪 双外 甚シッ 睪 テ 方傷 其 1 九二 及 狄 膣 アリショ睪凡梅 ル因 症 七又八膿汁或八血 膜 1條 状恰士睪丸炎 7 炎 ラ参互ス可 E 7 兼、 腫 7 脹 緊張 上者八波 而聽然藏藏 专 炎 類 液 他 梅毒 指 7 誤 渗 重力 名 診 漏

渗出 睪 經 テ E 過 九 動 微トン難ン兼ラ發熱ン陰囊ノ忠側紅腫緊張 滑 膿 ルカ 故 腹滿心提睪 重力 坳 E 澤 二腫 腫ョナン或ハ壊疽二階ルイア ス 摇 消 如力 レハ箱 スル毎二疼痛増劇ス時 散レテ吸收セラル、フ アリ其疼痛八緊張壓迫シテ破裂セン 版セル精系、覚隆中二海家セラ 精 筋 頓ブレウノト誤認ス 系ョ傳ハリラ腰部會陰、達し ノ、聖中九更出 拘急レテ睪丸刀難蹊管二奉 アリ或八化膿 ナシテハ窓心。 又一 と リ若シ病

性 勢劇甚ナラサルモノハ睪丸硬結レテ終二菱 膿 溢 時 終 テ **非外院的** 像此 腺質變シテ 睪 セル サル可シ既 睪丸全ク強小スルニ至 二精 テ 出心壞 波 丸炎二八病 テハ 部 動ラ 系二及七膿 疽 ラ久シク放 膿 現 スルフアリ 結 i = 腫 終二開ロシラ 組 化膿スレハ一局所必ス柔 初ョり注意レテ養小二傾 開ロシテ後手腺ノ實質割ロニ 北 織二化入故二急性並二次急 下共二 沙乙 置スレハ 凡以腺質八其状恰王膿 N 三十五 小精 膿 腔道ラ作 汁ラ 一回黑大北較一阪 液トラ 漏 為 ス 漏 化

刺戟藥ノ注 ヤラッパノ下劑ヲ與へ全身ノ勞動ヲ禁ン睪丸 病 療法 有害物ラ芝除い各般 和談然 甚シケレハ阿片劑ヲ與フ此病ニハ巴布ヲ以ヲ施シテ局處ヲ安保シ湯法。巴布等ヲ施シ疼 + アリトモ炎勢ノ威 ル者居多 類 北 症 和从 膿 セル者ナレハ誤認シテ之ラ傷ファ 射等ヲ禁レ便通ヲヨ 腫ハ 八上二出い一法トス殊二冷湯法ハー ナリ 泔 ス ノ刺 トモ硬結ヲ遺シテ終ニ菱 ナル時ハブーシー 衝ヲ避ケ假令尿道二 クシ時々甘 汞

テ。 性 多 刺 用 血 ケレハ 行り終二炎勢减退シテ全り消滅スルニ至レハ アレ 傷二因リテ炎勢ノ威ナル ノ實 水腫ヲ發シテ緊痛甚シキ時八皮下截入法 液 シテ ヒス且用フトモ決 叶先的 卷 2 比 ,克 三湯法ノ上二出ル一法トス殊二冷湯 IE 寫 蜞 + 驗二徴スルニ冷湯八終二硬結ヲ致 鉞 積甚シキカ為二局所成血ラ要スル 血ス可レ若心睪丸炎上同時二陰囊 ラ用 フ可 シテクシ カラス陰裏皮表ノ静脈 カル可 二非 一心黑人被 1)-力 ハン ラ ス 7 夥 7

帯諸法中フリッケ氏ノ法ョ貴フ其他コロ 編帯ラ施と歴史レテ渗出物ノ吸收ラ催進ス編 ランラ塗布スル法アレ氏疼痛レテ卓効ナン ブリッケ氏ノ陰裏帯ハ絆創膏ヲ細ノ截製 之ヲ以テ第十八圖ノ如り巻クナリ 第十八圖

第二十国

擦入之或以沃陳丁幾二沃陳加留母ラ加へ于奎 布ヲ貼ス可シ硬結久シク遺残セハ水銀軟膏ヲ 膿腫生スルニ至ラハ法ニ随テ截開レ久シク巴 十年門の一大大七七 第十九圖 マヨル氏三角陰裏擔帯ゴムエラスチカ陰裏擔帯 第二十圖 三十七 一切見大小藏被

シテ硬結疼痛シ觸 二炎症二雅八時八睪九上副睪九十月確知之難 防スルラ専要トス 副睪丸炎、淋疾二併發スルモノ多ン多 方ラ賞用ス其他久シク擔帶ラ施サスンハア 結り遺スモノ多シ者シ睪丸副睪丸共二同 硬結又以肥大硬結了致之炎勢散之下後 ス或八水銀軟膏二天鴻苓越吉私ラ伍七八金 以常一時消退シテ後指ラ以テ模索スレニ自一 シテ此 附 副睪丸炎エゼジデーシチス 在ラ治スルニハ硬結後ノ姜小ラ豫 松スレハ疼痛増加ス終二單 少腫 尚 永

圓ニシテ後方ニ在ルタ副 手爲過度冒寒外傷等二因テ發ス年齡八成男 賞用ス硬結ラ遺ス者モ睪丸硬結ラ治スルト 三於ケルフナノ七八二居ル其他尿石破碎或ハ 攝護腺炎の特發スルモノ スシテルシク前二在 NH院的 长之七 八睪九炎下異ナラス乃子安保香带巴布。ラ 其六攝護腺炎プロスタチチス 時減退シテ後指ラ以テ摸 ルラ睪九トス 睪丸トン甚夕堅力 稀ニシテ 一口思文上数一次 多クハ淋 索スルニ ラ 同

二治時明习貴心利尿沒稍厚ノ粘液习漏ス患者生 购 パバルサム。等了誤 入スレハ疼痛シテ入り難力時ニハ血ラ漏 シ亀頭で 勢威ナラサル者ハ消散シスハ治シテ慢性硬 熱スルヲ テ快 症 管膀胱ノ腐蝕劑注入法或ハギュペバラッパイ 示 亀頭冠=著 指 アルエ 通セス或い閉止シ大便スルニモ 觸 門ニ入レテ探レハ攝護 頸二刺スカ如キ痛ラ發之小便 知ス若し尿管エーカテーテ 丰疼痛 門工或八小便 用モ亦此炎ラ誘起スルフ 腺腫大シ 亦疾 滴 瀝 痛 頻 テ

粘 2 病 探 尿 テ 究 熱 腫 液 閉り起 外的句ととと 腫 上ラ梅入し誤テ膿潰部ラ貫穿 ラ天然:委シテ直陽或八尿道下孔 ラ穿 瀍 認 脹り遺し利尿 腺ノ一葉ニ止マルアリスハ全 スレハ局所柔軟 劇 7 メテ 胞トノ冷 シキ後をハ ス 精 故二此病二原因又几 液 泌 トスレ氏秋ラスコウベル腺 後 化 坳 膿-傾丰 稠 ニシテ通 ノ外 厚ノ ナラ 粘 築 液ラ 常其壓 マスル 尿 痛之直 一口是一大大数百 閉=「カ 腺ニ及ファ 漏 1 一迫ノ為 ス患 7 腸 者 通 3 ス "

攝。 截 文 射シテ清 銀膏擦入內服二八戶ツ夕大八舍炭酸曹達 7 賞用 開 千 部然 護腺肥大八隻々見い証ナル故二一言セサル 八腺 腺結石ラ化生スル シラ膿 膿 附 ス若し 般ナレモ ノ所マニ小膿電ラナスモノア 潰變シテ 洗スレハ 7 護腺 排 既二化 外 肥 泄ン時々 癒 脂 用二八坐浴温巴布會除工水 膿セル 防又八加爾基二化シ所謂 ルて難 7 7 創 モ 1) カ P ノハ ラス 3 ŋ 肛門 榝 1) 湯 內 鑛 3

山岩川以

7

力一言

中華 症候 尿 構護腺肥大スレハ膀胱頭ラ上方= 墨レ泉管ラ 診定スルニハ小心注意シテガテーテルラ梅 十年的り一巻とと 亦壓迫又故。尿通不利又八尿閉,起又了猶 動 道狭窄二於ケルカ如シ 假 性肥大サナスモ モスレハ拳大二至ル此病少年ノ人二少ナ 年以上老人:多之其他癌然扶然石等,為 ス全腺 部肥大スル者多し其大サハ鶏卵大ョ 肥大スル者ハ少ナクシテ偏方或 , P 四十 シアース できぬる

力。尿管狹府人如丰諸險症 对發ス乃手膀胱加答 見同結石。同麻痺等ニレテ終ニ尿閉或八腎化膿 經過 少 治スレ氏老年ニレテ病度高ケレハ甚タ治 シ 指 年ニン カ如と故ニ「カテーテルラ梅入スルニ必ス徐 レハ尿管ノ偏方狭窄之中葉肥大スレハ尿 心シテ諸方二四轉センフラ要ス 處 ラ以テ直腸ョリ探究スルラ要ス偏方肥大 月生之尿ノ通利ラ妨か恰も中膈ラ生ス テ 病度高カラサルモノハクレクレ 管

體 既 入法习賞入祖 約 入法ョ 家り 筋 故二嚴二攝生尹守 カノ緊張ヲ禁ス何トナレ 胆 痙攣スルー甚レケレハ 行上膀 大三至レルモノハ必ス之り治ス 經験二徴スレハ一日三回ガテー シカテーテルラ 脱二麻痺アル者二八無テ冷 ラシメ 諸 四十 頑 挿入スルニ セカ 刺 固,尿 衝 為三膀胱 ヲ避 阴 テ 7 12 ケ いべん 水注 法 捕 括

困 難 4 狹窄 説 法 レテ、 + 自 王患者二教 毛 トス時 起 ル ラ 次四二梅入スル時甚多易 12 約卷之七終 其 插入 部 モ 因 モ , , 溥擴 捕 ス セシ ,2 置 トレ 八柿 ,1 狹 セル 尿管狭窄截 ヘテカ 張 ムルフ ス可シ如 テ 入シ得 安八殊二截 間 八一二日 時 テーテ ョ貴 マカテ テ後一二時間 此スレハー 拓 術ラ行 拓術ラ 董邺本多数寫 心神入法 間 7 若 ーテルラ揺 故二此 插置スル シ如 謹 7 旦 此 神 7 一拔除 症 置 動 テ 7



